

# 成田 セイリウ

滋賀県議会議員



## プロフィール

民主党・県民ネットワーク所属

1974年8月15日 大津市生まれ  
唐崎小、唐崎中、膳所高卒業  
龍谷大学法学部政治学科卒業  
同志社大学大学院総合政策科学研究科修了  
滋賀県議会議員(大津市選挙区)  
文教・警察常任委員会 副委員長  
温暖化・流域治水対策特別委員会 委員  
民主党滋賀県総支部連合会 青年局長  
大津市消防団唐崎分団 団員  
唐崎学区体育振興会 常任理事  
唐崎学区スポーツ少年団 事務局  
大津こども環境探偵団エコーリーダー 幹事  
滋賀県トランポリン協会 会長  
社団法人大津青年会議所 理事

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎1-3-9  
TEL&FAX: 077-578-8913  
メール: mail@narinari.net  
オフィシャルサイト: www.narinari.net

## いよいよ

## 予防医療について

十月十一日に九月定例会が閉会いたしました。

今議会において、放射線の監視体制として、モニタリングポスト八基の設置や滋賀県産牛肉の放射性物質の検査に要する経費などの補正予算が可決いたしました。

そして、今、定例会においても一般質問を行い、予防医療を含め、四項目の質問を行いました。将来につけを残さない政治、県政の発展にむけた制度設計の提案を行いました。今後も、引き続き、調査研究を重ね、議会において様々な課題に対して、議論を行って参ります。

社会を取り巻く環境は東日本大震災以降大きく変わってきております。将来の安心・安全のため、未来に責任を持てる政治を行うために、全力で取り組んで参ります。

引き続きのご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

滋賀県議会議員 成田政隆

## ケアプロの取組み

ケアプロはJR中野駅の近くで「ワンコイン健診」事業を行っており、血液検査により「血糖値」「総コレステロール」「中性脂肪」の三項目、それぞれ500円でを行います。自己採血を行い、3分以内で結果がわかります。

今回、実際にパチンコ店内でのケアプロのイベントに参加しました。簡単な検査で、自分の健康状態が「基準」か、「要注意」か、「要受診」かが手軽にわかります。普段、健康診断を受けておられない方々が、気軽に健康のチェックができ、早めの対応、症状の重症化を防ぐことができるといえます。



この機器に針がついており、指先または手のひらから自己採血を行いました。



看護師が指先からの採血をはじめ、サポートをしてくれます。



血糖値、総コレステロール、中性脂肪の3項目にわたり、検査を行いました。

▼成田  
予防医療の推進は、いつまでも健康でいられるために、また元気に年をとっていきけるための施策の推進となり、また医療費削減に貢献するといえます。そこで、予防医療に対する期待と、今後の滋賀県としての施策展開に対する想いを伺う。

▼知事  
全ての県民が健やかで心豊かに安心して暮らせるためには、予防医療の取り組みは重要である。滋賀県基本構想の未来戦略プロジェクトの一つである「地域を支える医療福祉・在宅看取りプロジェクト」に健康づくりを位置づけ、予防医療の展開に取り組んでいくこととしており、こうした取り組みを通じて、県民の皆さんがいつまでも元気に年をとること、更には医療費の適正化につながるものと期待をしている。

▼成田  
インターネットを活用した健康状態の把握、そして、健康の問題に対するフォロワーの体制、さらには、滋賀県救急医療情報ネットワークとの連携等を行うことにより、健康状態の異常を早期に発見し、そこからのサポート体制をさらに充実することが可能であるといえる。IT化がどんどん進んでいく中で、インターネットを活用した予防医療の展開が重要であると考えるが？

▼知事  
食生活の改善や運動習慣の定着など健康的な生活スタイルの確立のためには、インターネット活用が有用である。できるだけインバクトのある、また皆さんに到達力のある情報発信に努めていきたい。



## NPOの現状

▼成田  
NPO法律施行から十二年を迎えた今、滋賀県におけるNPOはどのような役割を果たしてきたのか、NPOと行政の協働による創造的な地方自治の構築にどのような役割を担ってきたのか？

▼知事  
NPOは、様々な場面で、自らが主体的に地域課題の発見とその問題解決に取り組むとともに、地域における人と人のつながりを作り出す役割を果たしてきた。また、同時に、その活動を通じて、県民の社会参加意識の醸成にも寄与するなど、きわめて重要な役割を果たしている。

▼成田  
NPOの足腰を強くするために重要である、寄附に伴う税制優遇措置をどのようにされるのか？

▼知事  
実施時期は財政状況も勘案しなければならぬが、今回の地方税法の改正を踏まえ、市町と連携し、優遇措置の対象とするNPOの範囲をどうするかなど、検討を進める。

▼成田  
NPOの組織強化に向けたさらなる支援に対する所見を？

▼知事  
県では、「新しい公共支援事業」により、NPOの財務諸表作成能力、情報発信能力、組織のマネジメント能力などを高めるための活動基盤の強化に向けた支援を行っている。併せて、NPOの基盤整備をさらに進めるためには、コンサルティングや情報提供などの支援や政策提言等を行う「中間支援組織」の活躍も欠かせない。NPOの自立に向けて、「中間支援組織」が自立・自主的な支援事業を実施できるよう、県としても支援をしていく。

▼成田

▼知事  
NPOをはじめとする社会セクターの役割を最大限発揮し、それぞれの役割のもとで、公共をしっかりと担っていき、社会の安寧を築いていくことが重要であると考え、NPOに対して、どのような期待を持っているのか？

▼知事  
分権社会、地域主権の流れをより一層高めるためにも、地域で助け合い、支え合うという「共助」の役割を果たす主体として、NPOは大変重要であると認識。今後、ますますその活動範囲を広げ、新しい公共の担い手として、自立した社会貢献活動を進めていただくことを大いに期待をしている。

## 軽度・中等度 難聴児・中等度 支援についで

▼成田  
言語発達等には顕著な遅れが指摘されない軽度・中等度難聴児をしっかりとサポートを行うっていくことにより、子どもたちの健やかな成長を守ることができる。そのサポートにおいて、何よりも重要であるのは、補聴器であり、乳幼児期においては、補聴器を装着・活用することにより、基本的な日本語を獲得し、保育園・幼稚園等の集団生活で、子ども同士のコミュニケーションを成立させることとなる。滋賀県においても、軽度・中等度難聴児の健全な発育、コミュニケーション能力の取得を促進するために、補助金の制度を行う必要があると考え、知事の所見を伺う。

▼知事

助成制度について、整理すべき課題が3点ある。①身体障害者手帳の交付を受けていることが福祉サービスの前提となっている現行制度との整合、②視覚障害など、他の障害種別で手帳の対象とならない方との均衡、③年令や聞こえの程度など、制度の対象範囲。とは言い、乳幼児期は、発達が著しく、この時期における言語の獲得は、子どもたちが将来にわたり自ら考え、友達と交わり、成長していく上で大変大切な時期である。他府県の助成事例では、市町負担があることから、市町の意見などをお聞きしつつ、手帳を持たない難聴児の支援のあり方について研究を進め参りたい。

## 軽度・中等度難聴児とは

平均聴力レベルが70dB以下の難聴児であり、ある程度聞こえているがために、障害の発見が遅くなり、言語獲得の面で学齢期に大きな問題を抱えたまま教育を受けているケースが多い。

近年、新生児聴覚スクリーニングの検査によって、軽度な難聴や片耳難聴などの発見が新生児期に行われてきたにも関わらず、最早期からの支援、療育が十分でなく、また十分なる受け皿もない状態にある。

現在の制度においては、平均聴力レベルが70dB以上の場合、身体障害者手帳が交付され、補聴器を1割負担で購入することができるが、平均聴力レベルが70dB未満の場合は全額自己負担となる。滋賀県において手帳の交付を受けていない難聴児の人数は41人である。



細野豪志大田と、民主党政策フォーラム「原発事故とエネルギー」講演後



自治体政策青年ネットワーク研修会(子ども・子育て新システム)



唐崎学区市民運動会召集係として、競技内容の説明



温暖化・流域治水対策特別委員会県内調査(輪中堤)

## 成田セイリウ 活動アルバム

民主党・  
県民ネットワーク  
県政の改革に挑戦する政策集団

### 県民との意見交換会開催!

日時: 11月1日(火) 19:00~  
場所: 明日都浜大津 ふれあいプラザ5F  
大会議室(大津市浜大津4-1-1)  
テーマ: 防災 ご参加お待ちしております!